

<b>団体名</b>	世羅町	<b>所属</b>	企画課	<b>他団体等との連携</b>	世羅町商工会，世羅観光協会
<b>連絡先</b>	企業定住支援係 (0847)22-3206				

<b>取組事例名</b>	RUNRUNプロジェクトの推進	<b>取組期間</b>	平成23年度～
--------------	-----------------	-------------	---------

**取組の概要 ～ 世羅の地域資源“世羅高校の駅伝”を活かした地域活性化**

世羅町の新たな観光メニュー開発の一環として、駅伝強豪校の世羅高校の知名度を活かし、ランニングを中心としたスポーツ観光の取組

**取組の背景 ～ 地域の活性化に繋がる観光客の減少**

- (1) 世羅町の観光客数は平成19年をピークに減少傾向にあり，既存の花・果実の観光に加え，年間を通じ集客が可能であり，また多様化する観光客の志向・価値観に対応した新たな観光メニューの開発が課題。
- (2) 近年，都市型のマラソン大会が次々に開催され，市民ランナーが増加しており，ランニングは一過性のブームからライフワークとして定着しつつある。
- (3) 駅伝強豪校の世羅高校ブランドを活かし，スポーツ（特にランニング）観光メニューの開発。

**取組のねらい ～ 地域が一体となって取り組む新たな観光メニューの開発**

ランニング体験等を通じた観光客等及び観光消費額の増加

**取組の具体的内容 ～ “駅伝のまち”としてランナーにやさしいまちづくり**

- (1) 合宿誘致  
陸上（駅伝）を中心とした合宿を世羅町で行ってもらうことにより，旅館等宿泊施設利用を促す。また，箱根駅伝等に出場する有名大学等の合宿を誘致することで，“駅伝のまち”としての知名度の向上をめざす。
- (2) ランニングガイド育成  
ランニングを目的とした来訪者へ，コースの案内やトレーニングのアドバイスに加え，観光案内もできるガイドを育成する。
- (3) ランニングコース認定  
世羅高生が練習する山道等を“駅伝のまち”ならではのコースとして認定し，ランニング愛好家の来訪を促す。



(ガイド認定講座の様子)



(コース認定の様子)



(合宿の様子)

## 取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 限られた資源

### (1) 合宿誘致

実績がなく、また整備されたトレーニング施設もない中で、関東の強豪有名校の合宿誘致を行うには、きめ細かな対応が必要。

### (2) ランニングガイド育成

専門性の高いガイドであり、人材の確保が課題。

### (3) ランニングコース認定

幅広い層のランニング愛好家が満足でき、わかり易いコース設定が必要。

## 創意工夫した点 ～ “樗を繋ぐ” 駅伝のまちが培った人のつながりを最大限活用

### (1) 合宿誘致

ア 世羅高出身者が所属する大学チームを中心に個別にヒアリングを実施し、個々のニーズを把握したうえで旅館等と受入体制を整え、誘致活動を実施した。

イ 世羅高校陸上部の歴史の中で培われたOBの繋がり等、コネクションを活かした誘致活動を世羅校陸上部OBである観光協会職員が地道に行ったところが大きい。

### (2) ランニングガイド育成

ア 今まで実施したランニングイベントへの参加者や世羅陸上協会の会員等、世羅で走ることにとも興味のある方をガイドとして研修し、認定した。

イ ガイド育成研修のカリキュラムへ町の観光の内容も盛り込むことで、ランニングを一緒にしながら観光案内もできるガイドの育成を図った。

### (3) ランニングコース認定

世羅高校や青山学院大学の監督、またプロのランニングクラブの監督等、専門家からアドバイスをいただき、初心者から上級者まで、それぞれのニーズにあったランニングができるようなコース設定を行った。

## 取組の成果（効果） ～ 機運醸成と観光メニューとしての手ごたえ

### (1) 青山学院大学、広島経済大学の合宿誘致

ア 箱根駅伝でも近年、好成績を収めている青山学院大学や、オリンピックランナーである尾方監督が就任した広島経済大学の合宿を誘致し、監督、選手から好評価を得た。

イ 世羅高校卒業生も在籍する両校の合宿は、地域の関心も高く、練習中に沿道で町民が応援する等、町民のスポーツによるまちづくりに対する機運醸成にもつながった。

### (2) 一般ランニング愛好家の来訪

ア 観光協会へランニング目的の来訪者からの問い合わせが入り始めた。

イ 旅行会社等のランニングイベント開催の動きにもつながっている。

## 今後の展開 ～ 更なる地域住民の意識向上と訪れやすい町に向けた取組

既存の旅館等によるシャワーや部屋利用のサービス提供等、観光消費額の増加につながるような商品の開発や、コンビニや飲食店等によるランニング中のトイレ貸出等、ランナーに優しいおもてなしを町全体で実施できるよう、事業者向け、町民向けの講演会や研修を行う。更に、住民自身がランニングを行い、“駅伝のまち”を身近に感じられるようなワークショップ等を行うことでスポーツ観光による観光客の受け入れの機運醸成を図る。

## 他団体へのアドバイス ～ 地域が一体となった取組

町全体でおもてなしを実践するには、ランナーに対するちょっとした声掛けや、ランニングコースとして来訪者が山中を走ることにに対する住民の理解が不可欠であり、合宿参加者やランニングで訪れた方を身近に感じられ、応援したくなるような機運醸成や、住民自身が健康増進やリフレッシュ等を目的に実際に走って、訪れるランナーに対する共感を持つことが重要であり、そのためのしかけが必要である。

例（地元小学生と選手や監督との体験交流会の実施。ケーブルテレビ等を通じた合宿風景等の紹介等）